

「親仁会米の山病院内科専門研修プログラム」

理念

本プログラムは、福岡県有明医療圏の中心的な急性期病院の1つである米の山病院を基幹施設として、福岡県有明医療圏・近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設（久留米大学病院、久留米大学医療センター、飯塚病院、千鳥橋病院、大手町病院、みさき病院、大分健生病院、中友診療所）とで内科専門研修を経て高齢化が進む福岡県南部の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように研修します。基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として福岡県南部、引いては将来高齢化を迎える日本の医療を支える内科専門医の育成を目的とします。

初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での3年間（基幹施設2年間＋連携・特別連携施設1年間）に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

1. 患者の立場に立った、安全で質の高い、プライマリな患者ケア能力を修め、将来的にも総合性と専門性を兼ね備え、またチーム医療のリーダーシップを発揮し、医師としてのプロフェッショナリズムを涵養し、医療倫理を具有した、患者・家族と信頼関係を築ける医師を育てる。
2. 医療・介護を生涯に亘り学ぶとともに、患者の権利を尊重・擁護し、無差別・平等の医療・介護をめざし、協力的な地域の医療・介護専門家として、患者・住民の期待に応えうる医師を育てる。
3. 当院の理念と基本方針のもと、安全・安心・信頼の医療・介護の実現に尽力する医師を育てる。

使命

専攻医は本プログラムによって人格の涵養に努めるとともに、医療の社会性への理解を深め、地域の医療ニーズに応えうる総合的な力量と、内科専門医として以下の資質を備えた医師として成長するよう研修を行います。

As Medical Experts

患者の立場に立った、安全で質の高い患者ケアを提供するため、基本的・総合的な診療能力（主治医能力）を身につける。

As Health Advocates

健康を維持・向上するためにコミュニティや友の会などの患者団体と協力しながら専門知識と社会的に影響力を提供し、共同の営みを軸とした医療・介護を実践する事ができる。

As Communicators

患者とその家族との信頼関係を築き、効果的な患者ケアに不可欠な情報の収集と共有を促進する事ができる。

As Collaborators

コメディカルスタッフと効果的に協力して、安全で質の高い患者のケアを提供する事ができる。

As Leaders

円滑・良好なチーム医療を行うために、患者の立場に立つ医療・介護チームのリーダーとしての力量を身につける。また、他の専門家と協力し、優れた患者ケアシステムのために、貧困と格差、超高齢社会が進む中で、無差別・平等の医療・介護をめざし、健康の社会的決定因子を見捉え、より安全で質の高い医療・介護の実現に向けて実践する力量を蓄積する事ができる。

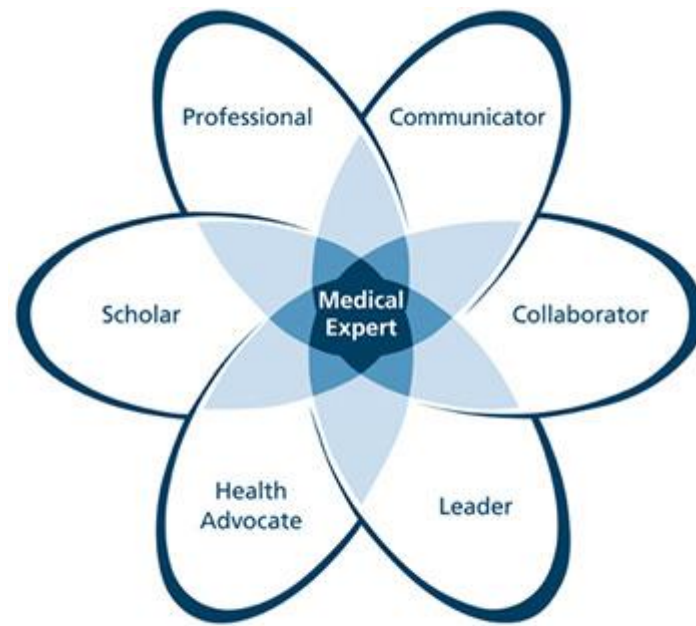
As Scholars

日常の医療活動を常に学術的に検討するとともに、新しい医学の成果の評価、後輩への指導・教育、学術活動への貢献を通じて学ぶことを、生涯に亘る医師の責務と自覚する事ができる。医学生や後輩研修医の良き相談相手として、的確な指導や助言を行うとともに、研修システムの改善に自ら積極的に取り組む事ができる。

As Professionals

医療倫理、医師としての高い行動規範、医師としての社会的説明責任、医師として社会に向けた宣言に準じ、患者の立場に立ち、患者の健康と福祉に責務を持つ事ができる。

**Better standards, better
physicians, better care**



CANMEDS

(このロゴは Can MEDS から許可を得て引用しています)

特性

- 1) 本プログラムの研修期間は基幹施設＋連携施設・特別連携施設の3年間になります。
- 2) 米の山病院内科施設群専門研修では、症例をある時点で経験するというだけでなく、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践し、入院～退院～在宅～復帰するという流れを通じ継続した医療活動を豊富に経験することができる環境も整えています。
- 3) 基幹施設である米の山病院は、福岡県有明医療圏の中心的な急性期病院の1つであるとともに、地域の病診・病病連携の中核の1つでもあり、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。
- 4) 基幹施設である米の山病院を中心とした研修(専攻医2年修了時)で、「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で45疾患群、

120 症例以上を経験し、日本内科学会 J-OSLER に登録できます。そして、専攻医 2 年修了時点で、指導医による形成的な指導を通じて、内科専門医ボードによる評価に合格できる 29 症例の病歴要約を作成できます。

残りの 1 年間で、56～70 疾患、160～200 症例以上の経験を達成します。

研修は総合内科重点コース(図 1)や Subspecialty 重点コースの中から、選択し、研修プログラムを調整して組むことが可能です。

募集専攻医数

内科専攻医募集数：3 名

研修プログラム例

総合内科専攻コース(例)		1年目		2年目		3年目	
基幹施設	米の山病院						
連携施設	千鳥橋病院						
	大手町病院						
特別連携施設	中友診療所						
	みさき病院						

Subspecialty専攻コース(例)		1年目		2年目		3年目	
基幹施設	米の山病院						
連携施設	千鳥橋病院						
	久留米大学病院						
	大手町病院						
特別連携施設	みさき病院						

九州各地コース(例)		1年目		2年目		3年目	
基幹施設	米の山病院						
連携施設	大手町病院						
	千鳥橋病院						
	大分健生病院						
特別連携施設	中友診療所						